



潮風にのって

新年あけましておめでとうございます。2026年の幕開けとともに、校庭に子どもたちの明るい声が戻ってきました。

3学期は、卒業や進級という大きな「節目」を迎える時期です。竹に節（ふし）があるからこそ、高くしなやかに伸びていけるように、子どもたちにとってもこれからの歩みを振り返り、次なるステージへと自分を「つなぐ」大切な3か月となります。

この節目は時には不安やプレッシャーを伴うこともあります。そこで本校では「折れない心を育てる」という視点を大切に困難に直面したときでもしなやかに立ち上がれる力を育む教育活動を推進しています。本当の強さとは、決して一人で耐えることではありません。誰かに寄りかかり、心で「つながる」なかで生まれるものだと考えています。

今、琴浦南小学校では3つのつながりを大切にしています。

- ① 自分自身と「つながる」—ありのままの自分（Being）を認め大切にする。
- ② 友達・先生と「つながる」—苦しいときに助けてと言ひ合える。
その声を「そうなんだね」と聞き合える安心感を広げる。
- ③ 家庭・地域と「つながる」—学校での学びを未来の夢へ、そして、地域の方々のあたたかなまなざしへとつなげていく。

たとえ、立ち止まってしまう日があっても、誰かと「つながって」いれば、必ずまた前を向く力が湧いてきます。子どもたちが「自分は一人じゃない」「この学校にいてよかった」と実感し、自信をもって次の一步を踏み出せるよう、教職員一丸となって子どもたちにいのちの寄り添ってまいります。

本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。



令和8年1月
倉敷市立琴浦南小学校
校長 橋本 博和